

第三部會調查事項要目案

(昭三、六、七)

第一 滿洲事變ト日本經濟

一、 第一次世界大戰後ノ世界經濟

イ、 第二次世界大戰後ノ經濟混亂

ロ、 世界經濟ノ恢復

ハ、 世界恐慌ノ特質

ニ、 各國ノ恐慌對策

國際的經濟協調ヘノ努力

一、 ブロシクニ經濟ノ形成ト景氣振興策

ホ、 ソレ聯邦ニオケル社會主義經濟ノ建設

ニ、 恐慌重圧下ノ日本經濟

イ、 日本經濟ノ機構トソノ特質

0118

ロ 恐慌ニ依ル日本經濟ノ變化

金融恐慌、金融解凍ト産業合理化運動ノ發展

經濟恐慌ノ推移——過剰生産恐慌ノ顯現、農業恐慌、對外貿易ノ停頓

ハ、恐慌ニヨル日本經濟ノ打撃

三、支那經濟ノ機構ト滿洲事變ノ發生

イ 支那ノ統一ト國民運動ノ發展

ロ アメリカレノ門戸開放政策ト「ソ」聯邦ノ産業五年計畫トノ影響

ハ、日本ノ在支權益ト大陸政策ノ發展

第二、滿洲事變ヨリ支那事變ニ至ル日本經濟

Ⅴ 財政ノ膨脹トインフレーション政策

イ 時局匡救豫算（農村匡救）ヨリ準戰時豫算ヘノ移行

ロ 公債増發トシノ消化——日銀ノ公債引受ト低金利政策

0119

ハ 増税——臨時利得税ノ創設ト關稅引上等

ニ 金輸出再禁止ト爲替管理

三 景氣転換期ノ經濟

イ 輕工業ノ發展ト重工業化ノ要請

ロ 企業ノ集中ト中小企業問題

ハ 農業恐慌ノ深化ト農村ノ窮乏——農産物價格ノ低落ト農村対策

ニ 労働運動ト農民運動ノ發展

ホ 日本ニオケル「ブラスム」的傾向ノ經濟的基礎

三 國際經濟戰ニオケル日本ノ地位

イ 日本貿易ノ發展

ロ 世界的關稅戰ノ發展

ハ 日滿經濟「プロット」ノ結成ト滿洲へノ資本輸出

二、日英通商敦ノ展開

日印 日蘭 日露 日仏 日埃 日英等ノ通商協議

三、日米經濟關係ノ推移

四、日ソノ經濟關係ノ調整

五、支那事變發生後ノ日本經濟

一、支那事變發生ノ經濟的背景

二、世界恐慌ノ發展ト支那ニオケル列國ノ經濟活動

三、支那ニオケル統一國家ノ形成ト經濟建設

支那經濟建設ト幣制改革

支那ノ排外運動ト日貨排斥

六、日本ノ支那進出トソノ經濟的意義

北支那確保ノ經濟的意義

四

0121

中支那進出ノ經濟的目的

滿洲國建設ト北支那經濟トノ關係

ニ 日本ニオケル「高度國防体制」ノ形成

イ 「高度國防体制」トソノ意図

ロ 國土計畫ノ概貌トソノ実績

ハ 軍事豫算ノ膨脹ト「インフレーション」ノ進展

臨時軍事費特別會計ノ設置

増税ト公債ノ累積

資金調整

通貨膨脹ト物價統制（又ニハ停止令）

ニ 物資動員ト生産力擴充

軍需生産ノ擴充ト民需生産ノ抑制

海陸輸送ノ強化

水、外國貿易ノ振換

貿易統制ノ強化ト總督管理

地域別商畠別ノ指改変化

ハ、農業生産ト食糧問題

米穀政策ノ振換

農業ニオケル資材労働力ノ不足ト生産ノ停滯

農村ニオケルコインフレーションノ浸潤

ト、勞務統制ノ強化

勞務動員体制ノ整備

勞務配置ノ振換——重工業部門ヘノ移動・軍動員ノ擴大

テ、資本ノ蓄積ト企業ノ集中

國民生活ノ規正

生活必需物資ノ配給制ト消費抑制

所得階級ノ多化ト貯蓄奨励

三、國家總動員法下經濟新体制

一、國家總動員法制定ノ経緯

制定ノ動機トソノ經濟的背景

發動ノ経過

經濟新体制ノ發展

經濟新体制要請ノ根據

經濟新体制ニ対スル各方面ノ反響

四、外地經濟ノ發展

一、朝鮮

0124

口 台湾

ハ 樺太

五 滿洲國ノ經濟建設ト支那ノ經濟開發

イ 滿洲國ノ經濟建設——經濟開發五ヶ年計畵

ロ 支那ノ經濟開發

ハ 日滿支經濟コブツクレノ結成

第四 太平洋戰爭開發ノ背景

六 第二次世界大戦ノ發生トソノ日本經濟ニ及ボセル影響

三 太平洋戰爭開發ノ經濟的背景

イ 支那事變處理ノ遲延ト日本經濟ノ逼迫

ロ 日滿支經濟コブツクレノ強化ト國內ニオケル國防体制ノ整備

ハ 國內原料ノ不足ト原料輸入ノ杜絶

- 三、日本及びビ主要交戦國ノ經濟戦力ニ対スル觀察
- 第五、太平洋戦争下ノ日本經濟
 - 一、作戦ノ推移ト戦力動員ト補給ト消耗ノ実情
 - 二、戦時經濟統制ノ特徴ト統制理念、機構、ソノ特徴、軍、經濟干渉等
 - 三、戦時經濟政策実施ノ経緯
 - 一、戦時經濟計画ノ概貌ト統制機構
 - 二、戦費調達ト財政金融政策
 - 三、物資動員ト生産増強方策
 - 四、食糧ト農林水産統制
 - 五、交通統制
 - 六、勞務統制
 - 七、企業統制

0126

天、物價統制

リ、生産増強下生産技術ノ統制

四、経済機構ノ変化

イ、金融市場及金融機構ノ変化

ロ、戦時生産ノ推移——(生産ノ実相究明)

ハ、産業ノ再編成——農業構造ノ変化

ニ、資本ノ蓄積——集中ノ過程——(戦時利遣)

ホ、職業別人口構成ノ変化

ヘ、コインフレーション

五、國民生活ノ変貌

第六、太平洋廣域经济圈ノ建設下大艦、占領地ノ経済工俵

一、太平洋廣域经济圈建設ノ特質下圈内諸民族ノ動向

二、各地ノ經濟工作

イ、滿洲

ロ、中華民國

ハ、佛領印度支那

ニ、フィリピン

ホ、馬來

ヘ、コロンビア

ト、フィリピン

チ、インドネシア

リ、その他ノ地域

(第七 結論——日本ニオケル戦後經濟ノ總決算)

第八 戦後ニオケル日本經濟ノ変革

一、戦争ニヨル日本経済ノ損失

イ、戦時経済ニヨルモノ

企業整備

命令ニヨル疎開

防空施設

其ノ他戦時経済ニヨル損害

ロ、直接戦争ニヨルモノ

戦争ニヨル物の損害

戦争ニヨル人的損害

ハ、敗戦ニヨルモノ

領土及在外権益ノ喪失

賠償ニヨルモノ

二、戦後ニオケル日本経済ノ混乱トソノ克服

イ、混乱ノ実情

ロ、財閥、地主ノ解体ト外地及ビ大陸経済ノ脱落

ハ、混乱克服ノ経緯

三、新日本経済建設ノ基礎条件

イ、世界経済ノ動向ト日本経済ノ環境

ロ、日本経済ノ実態トソノ特質